

■「効果の見える治水事業」

かみゆげ 上弓削海岸 津波・高潮危機管理対策緊急事業

『愛媛県上島町上弓削海岸 開口部の締め切り』



愛媛県東予地方局今治土木事務所長 松本 正二郎

■事業の概要

上弓削海岸は、愛媛県と広島県との間の瀬戸内海に浮かぶ上島諸島の弓削島北部に位置する延長3,469mの海岸で、対岸に広島県因島市を望む風光明媚な海岸です。

海岸背後には人家が集積するとともに、唯一の生活道路で避難路となっている一般県道弓削島循環線が通っており、それらを守るために昭和40年代に護岸を整備しており、護岸には、砂浜との連続性を確保するため開口部を設置していました。

開口部については、締め切りが遅れた場合、津波や高潮による被害が発生する恐れがあるため、地元上島町や消防団が角材による締め切りを行い背後地を守ってきましたが、時間と労力のかかる作業であり、施設の老朽化や職員等の高齢化に伴い早急の対応が危惧されていました。

このことから、護岸開口部への陸閘(※1)設置や利用の少ない開口部の締め切り(階段工)など開口部の統廃合を行い、背後地の更なる安全を図るために本事業を実施したものです。

事業概要は次のとおりで、事業費は少額ですが効果の非常に高い事業となっています。

(※1)陸閘、防潮施設的一种で陸上ゲートのこと。高潮時にはゲートを閉め高潮を防止するもの。

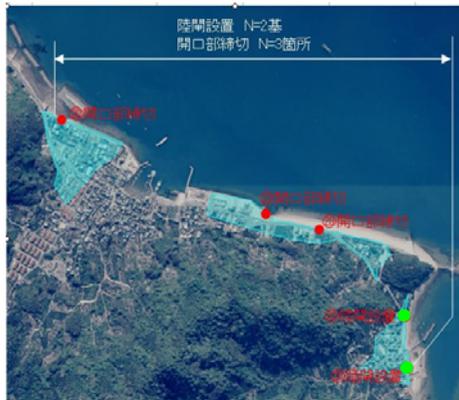
【事業概要】

事業期間; H20、事業費; 2,500千円

工事内容

陸閘設置N=2基

開口部締め切N=3箇所



陸閘設置: ●
開口部締め切: ●

位置図



開口部



締め切状況

■「海とともに在り続けるために」



愛媛県 上島町長 うえむら としゆき
上村 俊之

愛媛県の北東部、広島県境に位置し瀬戸内海のほぼ中央に浮かぶ上島町は、平成16年10月1日、弓削町・生名村・岩城村・鳥島村の4町村が合併し誕生しました。本町の面積は30.41平方キロメートル、気候は瀬戸内海特有の温暖な多日照寡雨で、平均気温は15~16℃、年間降雨量1,000ミリメートル前後で、冬期にほとんど積雪はありません。周囲は、瀬戸内海国立公園区域に囲まれ、風光明媚な瀬戸の景勝拠点地です。

四方を海に囲まれた上島町では、古来より海運業・製塩業など海を中心として発達し、現在においても漁業など海の恩恵を存分に受けております。しかし時として海は上島町住民の生活を脅かす脅威ともなりうるのです。

上島町弓削上弓削地区は民家が海岸近くに密集しており、台風時期の大雨と高潮による床下・床上浸水被害に度々悩まされてきました。そこで埋立地の周囲に遊水池を設けて台風時には強制的に排水する強制ポンプを設置しました。このポンプの設置により背後地の浸水被害は解消され、漁業への被害も軽減することができ、再び海の恩恵を存分に受けることが出来るようになりました。

また、弓削島・岩城島には「海の駅」を設置し、瀬戸内海の上交通の真ん中に位置する上島諸島は、ヨットなどの絶好の寄港地として少しずつ賑わい始めました。平成21年7月にはしまなみ海道10周年記念行事として「しまなみ海道ヨットミーティング」が上島町で開催され、約30艇のヨットが「ゆげ海の駅」に集結しました。これは上島町の新しい海との関わり方として大変参考になるものでした。「ゆげ海の駅」は新たに3基の浮桟橋を追加し、ますますヨットなど海からの来訪者を迎える体制を整えてまいります。

今後とも、国、県のご高配を戴きながら、海とともに発展し、海とともに永く在り続けるために、新しい海との関わり方を模索し続けたいと考えております。



上弓削漁港排水ポンプ



ゆげ海の駅



いわぎ海の駅